

事業		実施主体	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	評価
基本目標 1：市民の日常生活やまちづくりを支える地域公共交通網の形成		指標：市内の公共交通の利用者数 （目標値：625,600人）	540,288人	492,558人	507,304人	484,517人	
事業①：本市と近隣自治体を結ぶ広域間の公共交通の維持		行政、交通事業者、関係団体、 地域住民	継続した見直し =====▶				
1 広域な都市間移動手段の確保・維持			鉄道利用促進協議会を通じた利用促進	鉄道利用促進協議会を通じた利用促進	・地域間幹線系統確保維持費国庫補助金の申請 ・鉄道利用促進協議会を通じた利用促進	・地域間幹線系統確保維持費国庫補助金の申請 ・鉄道利用促進協議会を通じた利用促進	△ 高速バスの運行再開、JR山陰本線的全線復旧はあったが、具体的な対策は未実施
2 乗継・待合環境の改善検討					路線バス減便に併せて乗合タクシーの時刻変更	・路線バス減便に併せて乗合タクシーの時刻変更 ・利用者の意見を取り入れた、ダイヤ等の改正 ・停留所表示又は支柱の更新	△ ダイヤ改正等には随時対応したが、待合環境の整備は未実施
3 地域・住民と連携した利用促進				地域のイベントで交通ブースを設置		・都茂線沿線地区で住民ワークショップを開催 ・匹見線沿線地区で意見交換会を開催	△ ワークショップや意見交換会は実施したが、他分野との連携は未実施
事業②：市内の地区間を結ぶ地域間の公共交通の維持		行政、交通事業者、関係団体、 地域住民	継続した見直し =====▶				
1 利用者ニーズに対応した路線バスの充実							× 廃止や減便があり、協議会においても検討が不足
2 【再掲】乗継・待合環境の改善検討					路線バス減便に併せて乗合タクシーの時刻変更	・路線バス減便に併せて乗合タクシーの時刻変更 ・利用者の意見を取り入れた、ダイヤ等の改正 ・停留所表示又は支柱の更新	△ ダイヤ改正等には随時対応したが、待合環境の整備は未実施
3 【再掲】地域・住民と連携した利用促進				地域のイベントで交通ブースを設置		・都茂線沿線地区で住民ワークショップを開催 ・匹見線沿線地区で意見交換会を開催	△ ワークショップや意見交換会は実施したが、他分野との連携は未実施
事業③：地区内を運行する地域内の公共交通の維持		行政、交通事業者、関係団体、 地域住民	継続した見直し =====▶				
1 地区内交通の見直し				・生活バス路線を乗合タクシーに移行 ・二条地区乗合タクシー実証事業に関するアンケート実施 ・二条地区内線の増便	・生活交通の改善に向けた調査業務 （乗合タクシー・過疎バス） ・乗合タクシー利用者への聞き取り調査	・生活交通の改善に向けた調査業務 （乗合タクシー・過疎バス） ・乗合タクシー利用者へのアンケート及び聞き取り調査	○ 利用者からの聞き取りに基づく見直しを実施
2 【再掲】乗継・待合環境の改善検討					路線バス減便に併せて乗合タクシーの時刻変更	・路線バス減便に併せて乗合タクシーの時刻変更 ・利用者の意見を取り入れた、ダイヤ等の改正 ・停留所表示又は支柱の更新	△ ダイヤ改正等には随時対応したが、待合環境の整備は未実施
3 【再掲】地域・住民と連携した利用促進				地域のイベントで交通ブースを設置		・都茂線沿線地区で住民ワークショップを開催 ・匹見線沿線地区で意見交換会を開催	△ ワークショップや意見交換会は実施したが、他分野との連携は未実施
4 益田市自転車活用推進計画との連携				四市長会（長門・萩・益田・浜田）において、JRの利用促進対策としてサイクルトレインについて協議	JRの利用促進対策としてサイクルトレイン実証事業	JRの利用促進対策としてサイクルトレイン実証事業	○ JR山陰本線においてサイクルトレインの実証事業を実施
事業④：公共交通を活用した観光ルートの構築		行政、交通事業者、関係団体、 地域住民	調査・検討	実施 =====▶			
1 観光分野との連携、利用促進及び連らサイクル事業との連携				四市長会（長門・萩・益田・浜田）において、JRの利用促進対策としてサイクルトレインについて協議	JRの利用促進対策としてサイクルトレイン実証事業	JRの利用促進対策としてサイクルトレイン実証事業	△ レンタサイクルは実施されているものの、公共交通を利用した観光ルートの周知に課題
基本目標 2：利用しやすい地域公共交通サービスの提供		指標：公共交通の満足度 （目標値：3.0）	—	—	—	—	
事業⑤：移動手段に応じた利用者に対する支援		行政、交通事業者、関係団体、 地域住民	実現可能な取組から着手 =====▶				
1 自動車運転免許証の返納による公共交通への転換に合わせた利用促進策			運賃支援（バス・タクシー）				○ 支援制度を継続して実施している
2 利用しやすい車両の導入			交通系ＩＣカード導入（バス）				△ 運賃の支払い方法が限られる
3 利用者への支援			運賃支援（バス・タクシー）				○ 支援制度を継続して実施している
4 タクシーのサービス充実・利用促進			各種サービス（タクシー）				○ 各種サービスを継続して実施している
事業⑥：移動手段確保に向けた取組		行政、交通事業者、関係団体、 地域住民	実現可能な取組から着手 =====▶				
1 様々な移送サービスの活用についての研究					国等主催の各種事業説明会への参加	国等主催の各種事業説明会への参加	○ 各地域において研究及びサービスの実施がされている
2 介護保険制度における移動支援（訪問型サービスD）			一部費用の支援				○ 支援制度を継続して実施している
3 地域主体の交通手段導入に関するパンフレットの作成							× 未実施
事業⑦：分かりやすい情報提供		行政、交通事業者、関係団体、 地域住民	実現可能な取組から着手 =====▶				
1 益田市公共交通マップ等を活用した地域公共交通サービスの周知				市内タクシー事業者連絡先一覧カード作成・配布	益田市地域公共交通マップの改定	・乗合タクシーカレンダーの改定 ・益田市地域公共交通マップ等の改定 ・市内タクシー事業者連絡先一覧カードの改定	○ 紙媒体及びWEBで周知を実施
2 経路探索サイトとの連携			生活バス運行データの提供		・路線のGTFS化の検討 ・市公式HPによる情報発信	・美都線、匹見線のGTFS化による経路検索実装 ・市公式LINEによる情報発信	○ 乗合タクシー一部路線のGTFSデータ作成、市公式LINEの活用、駅すばあとへのデータ提供を実施
3 交通事業者が発信する情報アプリ等、市民に対して周知・PR							× 未実施
基本目標 3：持続可能な地域公共交通の仕組みづくり		指標：モビリティ・マネジメント等の開催回数（目標値：4件/年）	0	0	0	4	
事業⑧：モビリティ・マネジメントの実施		行政、交通事業者、関係団体	実現可能な取組から着手 =====▶				
1 モビリティ・マネジメントの実施					・匹見線、種線沿線地区で住民説明会を開催	・都茂線沿線地区で住民ワークショップを開催 ・匹見線沿線地区で意見交換会を開催	△ 一部地域においてのみワークショップや意見交換会を実施
事業⑨：地域・住民と連携した公共交通利用への意識啓発		行政、交通事業者、関係団体、 地域住民	実現可能な取組から着手 =====▶				
1 地域公共交通に関する意見交換場の創出				地域のイベントで交通ブースを設置	・匹見線、種線沿線地区で住民説明会を開催	・都茂線沿線地区で住民ワークショップを開催 ・匹見線沿線地区で意見交換会を開催	△ 一部地域においてのみワークショップや意見交換会を実施
2 【再掲】地域・住民と連携した利用促進				地域のイベントで交通ブースを設置		・都茂線沿線地区で住民ワークショップを開催 ・匹見線沿線地区で意見交換会を開催	△ ワークショップや意見交換会は実施したが、他分野との連携は未実施
事業⑩：運転士不足の解消に向けた担い手の確保		行政、交通事業者	実現可能な取組から着手 =====▶				
1 運転士の人材確保に向けた施策の検討				運転士の処遇改善に関する広報（市公式ウェブサイト）			× 単独の取組みで、連携した取組みが実施できていない